

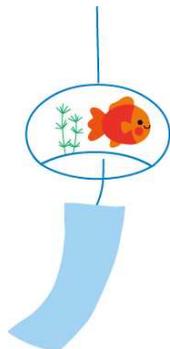
SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆虫めがね・・・・・・・・・・2
- ☆虫めがね2・外に出よう感想
・・・・・・・・・・3
- ☆外に出よう感想2・・・・・・・・4
- ☆新キャブ報告・スケジュール
・・・・・・・・・・5
- ☆小野塚連載・・・・・・・・・・6
- ☆岡本連載・・・・・・・・・・7
- ☆太田連載・クイズ・・・・・・・・8
- ☆学習会・旅行ボラ募集・・・・9
- ☆活動報告・バザー募集
・・・・・・・・・・10
- ☆夕会便り・クイズ解答
寄付のお礼・・・・11
- ☆編集後記・・・・・・・・・・12





大きな行事である「障害者は、外に出よう」が終わり、今月から後半戦突入です。読者の皆様には、何かとお世話になるかもしれません。その時は、よろしくお願いします。

三木 直人



虫めがね ～好きな芸能人～

視聴者にエンターテインメントを提供するのが芸能界であり、その世界の構造を見たり知ったりするのはとても興味深い。ドラマや音楽番組、ニュースやドキュメントがどのようにして作られていくのかを知るのは好きだ。ただし、深く知れば知るほど、その世界のきな臭さや泥臭さまで知ってしまうことになる。そういった闇の部分も含めた世界が芸能界なのだろうし、社会というものは常に清濁併せ持つものだという事も理解している。華やかな表舞台を作り上げるためには、裏側で相応の汚い努力もなされているのだろうということも分かっている。そういった世界を構造的に理解していくと、憧れのスターと呼ばれるような人たちも世界を構築するパーツの一つでしかないように思えてならない。

だから、そういった世界でスポットライトを当てられている人たちを、「あの人が好き!」「この人が嫌い!」などと軽々しく口にするには僕には出来ないのだ。

小野塚 航

『僕の好きな芸能人』という今回のテーマ、私が好きなのは、中学生時代から今の今までは、CHAGE & ASKAです。七・八年間に渡り、ファンクラブに入会していました。

現在二人での活動を休止をして、ソロ活動を重視してそれぞれ頑張っているそうです。早く二人での活動を復活して、またハーモニーが聞きたいです。

現在の好きな芸能人は、AKB48のメンバーならば、板野友美と高橋みなみが好きですし、元モーニング娘では後藤真希のことが一番好きでした。ですから無期限の活動休止にはショックでした。早い復帰を願っています。

田中 聡

私の長い人生の中で好きになった芸能人は数え切れないほど沢山いるので誰の事を書こうか途惑ってしまう。

その中で【萩本欽一編】を語ろう。彼はテレビが白黒時代に坂上二郎氏とコンビを組み「欽ちゃん！二郎さん！」と観客全員が呼ぶとその二人が舞台に現れ【コント55号】の始まり始まりである！！これで欽ちゃんと二郎さんが芸能界にデビューし、【コント55号】が子供から大人まで日本全国で大人気となり、それを観ていた人々が学校や企業などの出し物や休憩時間に漫才ブームになってお笑いタレントが増えて来た。それから何年か経ってコント55号は解散し欽ちゃんは司会者に二郎さんは俳優にそれぞれの道にチャレンジする事になった。

その後、欽ちゃんはスター誕生の司会を務めピンクレディーのミーちゃんやケイちゃん、早見 優などの多くのアイドル歌手を産み出し、殆どの人達がテレビやラジオなどで活躍していた。また、「欽ちゃんのドーンとやってみよう！」「欽ちゃんのごちそうの！」と言って皆様から寄せられたはがきを元にコントを交えたとても愉快的番組だった。さらに日テレの24時間テレビでもユニークで感動的な司会をやり、障害者や老人などに親しまれ喜ばれた！

幸高史

虫めがね
好きな芸能人

外に出よう感想

みんなで行こうよ鎌倉散策 ～障害者は外に出よう～

今年の「障害者は外に出よう」は、五月二十日、神奈川県鎌倉市に総勢九九名（本部を除く）十班で行ってまいりました。私の班は、東京から鎌倉（私達の班の場合）は、アクセスの良い新橋駅を出発し、JR横須賀線で鎌倉駅に行き、江ノ電で長谷駅で下車、高德院の大仏見学をしてから再び江ノ電に乗車して藤沢駅に行きJR東海道本線で、今回の集合場所である品川駅港南口というルートを利用しました。ご存じのように鎌倉は歴史が深く、東の京都といわれているように、寺・神社仏閣が多くまた季節も良かった（当日は、天気にも恵まれ）ので、花や木々が青々としてとても綺麗でした。JRの駅員さんが、とても親切に案内をしてくれたので、スムーズに鎌倉観光が出来ました。企画立案に当たっていただいた各団体の代表者の皆さんお世話になりました。

構成団体

車いすと共に歩く会 港区重度心身障害（児）者を守る会 港区肢体不自由（児）者愛の会

麻布十三倶楽部 港区中途障害者会 港区障害者団体連絡会

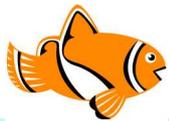
立教大学B S A第十八支部 港区運転者協会 東京神宮ライオンズクラブ

東京赤坂ロータリークラブ ヒューマンクラブ 非特定営利活動法人風の子会
江ノ電揺られ 奈良より小さい 鎌倉大仏

和食食べ 江ノ電揺られ 鎌倉大仏

五月晴れ 江ノ電揺られ 鎌倉散策

暫定実行委員長 三木 直人



外に出よう感想



当日は、小学生の頃の遠足のようなワクワクした気持ちと、緊張のドキドキした気持ちがまじったような気持ちで迎えました。車いすを押して出掛けることが初めての経験でしたので、うまくお手伝いできるか、みなさんとうまくコミュニケーションできるか、何より予定通りスケジュールをこなせるか…など不安も多々ありました。しかし、行ってみればなんのその。ハフニングにも負けず、現地の混雑にも負けず、職員さんや他のボランティアさん方の心強いサポートのおかげで、私自身も鎌倉を満喫することができました。また、交通機関や観光地のバリアフリー面でたくさん不便を感じ、いままで持っていなかった視点をすることもでき、良い経験になりました。何十年も続いている風の子会という団体の魅力がギュギュッと詰まった本当に素敵な行事だと感じました！ぜひまた参加させていただきたいです。ありがとうございました。

明治学院大学心理学部4年 佐藤ゆり



以前からご縁のあった風の子会さんのお誘いで、今回初めて参加させて頂きました。班の中で私は、会計という大役を任せられましたが、障害者の方と公共交通機関を使って外出するのは初めてのことで、障害者用の切符の買い方も知りませんでした。メンバーの皆さんにその都度色々教わり助けられながら、しかし散策や交流はバツチリ楽しみながら、無事行って帰ってくることが出来ました。今回の鎌倉散策を通じて感じたことは、「気軽に外に出られない！」ということでした。行動スケジュールを立てるにあたって、障害者用トイレの場所、エレベーターの有無、車いすで入れる飲食店など、下調べを入念にする必要がありました。だからこそ、このイベントが100人規模で出来ること、そして皆が毎年楽しみにして、何年も続いていることのすごさと意義を実感しました。とても素晴らしいイベントだと思います。来年の「そとでよ」が今から楽しみです！

明治学院大学心理学部4年 櫻井仁美



風の子に来て初めての、そして大きな行事ということでとても緊張しましたが、ボランティアさんのご協力のおかげで無事に過ごすことが出来ました。当日はお天気にも恵まれ楽しく鎌倉観光できたのですが、鶴岡八幡宮ではスロープが無かったため境内まで上がれなかったのが残念でした。また、普段自分が何気なく通り過ぎているちょっとした段差や隙間が、車椅子では大きな障壁になるということを改めて思い知り、とても勉強になりました。特に大きなトラブルは無かったのですが、リーダーとして至らない部分が多くあったので次回からもっと責任感を持って臨みたいと思います。

職員 石田菜帆



平成24年度外へ出よう。天気は晴れました。岡本明さんと片岡さんが僕を迎えに来てくれました。僕は岡本さん達と一緒に山/手線に乗って品川駅に着きました。今年の外へ出ようの行き場所は鎌倉です。僕は1班です。他には田中先輩のお母様、松本先輩のお母様、片岡さん、北原さん、太田さん、小宮山さん、尾関さん、岡本さん、計9名です。みんなで江/電に乗って鎌倉へ行きました。お昼ご飯はシラス丼を食べました。美味しかったです。そして、江/島を散歩しました。散歩の時に困ったことがありました。江/島にはテコポコ道がありました。途中まで渡って、危ないので普通道路を歩きました。海は最高でした。僕達はお茶をして帰りました。

もう少し道を何とかしてほしいなあと思いました。来年も楽しみにしています。

柳川敬事

新キャブ報告



十年近く風の子のために走ってくれたライオンキャブですが、この長い間に少しずつ故障箇所が見つかり、非常に残念ではありますが、この度買い替えることになりました。

ライオンキャブを購入するにあたって、神宮ライオンスクラブさんにはご支

援頂き、本当にありがとうございました。

ライオンキャブに代わる新しいキャブですが、今回は風の子初の車椅子が四台固定できるハンティキャブです。従来のキャブよりも横幅・縦幅共に一回り大きくなります。

車椅子が大型化し、車椅子固定（普通座席に移乗できない）のメンバーが増えたため、三台のハンティキャブでそれぞれ一巡で送迎が完了できず、二巡目の送迎という深刻な事態が生じていて、その解決には一度に四台固定できる事は切実な要求でした。試乗してみたら風の子メンバーで一番大型の車椅子を入れつつも四台固定できたので、朝・夕の送迎で、今までよりもより効率よくメンバーの家を回れそうです。それにより、作業時間も少しは延びるでしょうから、風の子にとって大きなメリットとなるでしょう。

実際の買い替えは、高額なため資金調達の目途などによりまだ少し先になりそうですが、ライオンキャブが無くなり寂しい気持ちがある反面、新キャブへの期待も皆高まっているようです。

四台固定のハンティキャブは珍しいと思うので、風の子に遊びに来たときにでもぜひご覧になって下さいね。

職員 丸山



- 6月 6日（水） 運営委員会
- 6月23日（土） 総 会
- 7月 7日（土） 歌と踊りの集い
- 8月 4日（土） 暑気払い
- 8月 8日（水）～8月17日（金） 夏休み
- 9月 1日（土）・2日（日） 旅行
- 10月 6日（土）・7日（日） みなと区民まつり

ス
ジ
ケ
ユ
リ
ル



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第46話 Introspect Myself “ Part - 1 Reliablensess ”

「映画でも、観に行かないか？」部屋でトモと二人でいる時に、ふいにそう口走る。何でそんな言葉が出てしまったのか、自分でもよくわからない。飛び出してしまった言葉はもう戻らないし、消し去ることもできない。「何の映画？」「まあ、何を観るかは二人で決めてだな、映画観て、レストランで飯食って、みたいなことをだな、学生でいられる間に一度くらいはしてみたいなと思った訳よ」取り繕うように言う僕の目をじいーっと覗き込みながらトモは言う「なんかデートみたいだね」。慌ててマルボロを啜えながら「キイチの許可がいる、かな？」と訊いてみる。両腕を上挙げ、大きく伸びをしながら「うーん、でも、そのくらいなら別にいいんじゃない。ヅカシには、いつも世話になってるしね」と、何でもなさそうにトモは応えた。

トモは、僕が3年の時に入った1年だ。当時の僕の部屋は溜まり場で、ひっきりなしに人が出入りしていた。賑やかで騒がしく、陽気で猥雑な部屋の空気にトモはすぐ馴染んでいた。トモと出会った当初から、僕は既にトモに惹かれていたのだと思う。けれど当時の僕は、自分の思いを正直に伝えられるような勇氣はなかった。だから溜まり場となっている自分の部屋にトモが来て、みんなとわいわいやっているだけでその頃の僕は十分だった。トモは寮に入ってすぐにキイチと付き合い始めた。キイチは、僕と一緒にの部屋に住んでいた一つ下の後輩であり、1年の頃から可愛がっていた弟のような男である。そんな後輩と、少し気になりだしたコが付き合い始め、同じ部屋で仲良くしている。そんな風景を眺めているのは複雑な気分だったが、三人で部屋でまったりとのんびりと過ごす時間も、それはそれで楽しかった。

それから2年が過ぎ、トモは3年になり僕は5年になった。

「映画、何観る？」トモの問いに、ぴあのページをめくりながら応える「サンドラ・ブロックの主演映画あたりなんかどうだろう？」。開いているページを僕の肩越しに覗き込みながらトモは言う。「恋愛映画ね。面白そうだし、それにしよ」そうして観る映画を決め、近くのレストランをチェックし、デート（もどき？ いやそれ以下か？）プランニングは決まった。

デート（あくまで“もどき”ではあるけれど）のその日、キイチの車を借り、トモの運転で映画館へと向かう。「あたしの運転で大丈夫かなあ・・・？」ハンドルをしっかりと握りながらトモはアクセルを踏む。「せっかく免許を取ったんだから、乗り慣れなきゃだろ？ 映画館までの道順は、俺に任せておけばいいから」言いながらも、シートベルトをしっかりと掴みながらマルボロを啜える余裕もないままに、トモの運転を横目でちらちら見つつ右へ左へと案内しながら映画館へ向かう。「車いす、トランクにちゃんと入れたよね？」実はこの一週間前に決行したものの、車いすを準備するのを忘れてしまったために映画を見損ねてしまうという失態を演じてしまったのだ。「そんなこと心配せず、運転に集中する！」トモの運転に慣れてきたのか、マルボロを啜えながら叱咤激励する。「うん！」そんなやりとりをしつつ、車は聖蹟桜ヶ丘に無事に辿り着いた。

“ To Be Continued … ”



風の子便り連載 バリアフリーよもやま話 第11回 「聴こえない音楽家」

アメリカのミュージシャンのステイヴン・ワンダー、お琴の宮城道雄、最近ではピアノの辻井伸行など、眼が見えない音楽家はたくさんいます。でも、耳が聴こえない音楽家もいるのです。

「運命」交響曲や「第九」交響曲で知られる作曲家ベートーベンがひどい難聴だったことは有名ですね。「第九」交響曲を書き始めたとき、彼はすでに耳が聴こえなくなっていました。でも天才とはすごいもので、頭の中には正確な音が残っていて、あの名曲を書き上げることができたのです。ベートーベン「第九」交響曲の初演のとき、観客が拍手喝さいしているのが聴こえずに下を向いていたそうです。



実は日本にも聴こえない作曲家がいます。ゲームソフト「鬼武者」の音楽「交響組曲ライジング・サン」でも知られる（私はゲームをやらないので知らなかったですが）、佐村河内守さんという方です。なんか「さむら かわちのかみ」という昔の殿様の名前みたいですが、「さむらごうち まもる」さんです。佐村河内さんは1963年広島県生まれ。ご両親は被爆者だそうです。佐村河内さんは独学で作曲を学びましたが、17歳のときに聴覚に異常が出て、35歳でまったく聴こえなくなりました。轟音が頭に鳴り響く耳鳴り発作に加えて他のいくつかの病気が彼を悩ませています。それでも「絶対音感」を頼りに作曲を続けているということです。主な作品には「交響曲第1番」、「交響曲第2番」、「吹奏楽のための小品」などがあります。

なんと耳が聴こえないプロの演奏家もいるのです。イギリスのエヴェリン・グレニーという打楽器奏者です。1965年生まれ。父親はアコーディオン奏者でした。8歳のとき聴覚に障害が起こり、12歳でほとんど聴覚を失いました。しかし王立音楽アカデミーに学び、今は世界でも有数のソロ・パーカッションリストとして活躍しています。振動が伝わってくる身体の場所で音の高低や音の大きさを感じとるそうです。身体全体で他の音を感じとって、他の演奏家との合奏も完璧にこなします。彼女は1989年にグラミー賞を受賞し、1993年には大英帝国勲章を授与されました。

グレニーさんは日本にも何回か演奏旅行に来ていて、私も昨年横浜で開かれたコンサートを聴きに行きました。マリンバやティンパニー、ドラムなど多くの打楽器を操り、ピアノともぴったり合ったすばらしい演奏でした。はじめは聴こえない演奏家ということへの興味も半分で聴いていたのですが、すぐにその音楽に引き込まれて、彼女が聴こえないということは忘れてしまいました。

耳が聴こえないのに音楽を、というのは実に不思議な気がしますが、天才には我々の常識を超えたものがありますね。聴こえるのに凡人の私は何年やってもうまくなりません。

ところで、このコンサートでは音を振動に変える装置がついた客席がいくつか用意されていて、聴覚障害のある方がたくさん聴きに来ていました。この装置はパオイニア（株）が開発し、同社の社会貢献事業の一つとして20年も続けている「身体で聴こう音楽会」で使われています。こうすれば聴こえない人でも演奏会に行っても聴こえる人と一緒に楽しめるのですね。

岡本 明



自分の母を誉めるわけではないが、母は物凄く意志の強い人。僕も母に少しでも似ていたらと思うときが多々ある。話を仁丹のことに戻そう。仁丹中毒だと解った母は、自分の机の引き出しの中に、あった飲みかけの仁丹を飲んで、心に誓ったそうだ。「もう仁丹は口にしない」と。

僕の生い立ち
第十三話

Ryo's エニグマルーム

問1, 旅先の店でのこと。ケース付きのカメラが310ドルで売られていた。カメラ本体は、ケースよりも300ドル高く、残りがケース代にあたるということだった。ケースだけを買うことにして100ドルのお札を出したのだが、さて、お釣りはいくらだろうか。

問2, ビンのなかに1個の細菌がいる。この細菌は1分後に、2個に分裂する。分裂した2個は、また1分後にそれぞれ2個に分裂する。これで4個になる。このようにして1個の細菌がビンいっぱいまで増えるのに1時間かかるとする。最初に2個からはじめると、ビンいっぱいになるのに何分かかかるかな

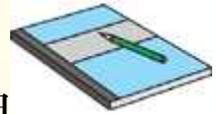
問3, ある競馬場のコースを1分間に走る距離は、以下のようになっているとする。

馬Aは2周。馬Bは3周。馬Cは4周。今、スタートラインにABC三頭が並び、同方向にいっせいに走り出した。スタートラインで三頭がもう一度並ぶのは何分後か

☆学習会報告☆

五月二日水曜日、演劇、お芝居をやるにはどんなことをやったらいいかと言うことを、みんなで話し合いました。色々な意見が出され、「三匹の子豚」の芝居をやってみようかという事になりましたが、いざそれをやろうと思うと僕にとっては大変なことだろうと思っていました。

案の定演劇というのは大変なものだと言うことが、よく分かりました。



五月九日水曜日 この日は、前後半に分けて国語と星、前半は、田村君の国語で、「間違いやすい日本の言葉」というテーマで勉強しました。後半は、田中君が、色々な星について、教えてくれました。



五月十六日水曜日 数学（カルタ方式で、問題を読み札に書き、答えが書かれた取り札を机に並べ、それをみんなで取り合うというもの）これを作ってくれたのは会員の朝生君と元職員の武藤さん。



後半は、岡本明さんのバリアフリーのお話でした。バリアフリーとは口では言えるものの、本当のバリアフリーとは何だろうという話を聞いて、感じさせられました。

現在のバリアフリーは障害者の立場に立って考えているのだろうかというお話でしたが、僕も明さんと全く同感でした。本当のバリアフリーは障害者も自ら考える事ではないでしょうか、と僕は感じました。

太田 稔

今年もまた風の子一泊旅行が9月に行われます。昨年の箱根は台風の直撃に遭い、大変な旅行になりました。でもそれも振り返ってみればいい思い出になったのではないのでしょうか。

今年はみんなの意見をまとめた結果、浜名湖周辺に行こうということになりました。例年に比べると少し遠距離になります。浜名湖の美しい景色を眺め、おいしい料理を食べ、宴会に温泉と楽しいイベント。加えて天気も晴れてくれればうれしいのですが…

そこでみなさんにお願いです。僕たちの旅行にボランティアとして参加してくれる方を募っています。観光や宴会や温泉などを一緒に楽しみましょう。初心者も大歓迎です（初心者の方は一度風の子へ遊びに来て下さい）。

ご連絡をお待ちしています。

行事委員



旅行ボランティア募集



〒108-0075
東京都港区港南1-1-27
カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674
FAX 03(3474)9213

※送料は申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。
※港区内の方はご連絡頂ければ、要相談で取りに伺います。

十月にある区民祭りで売る為の文庫本やバザー品（衣類含め）を募集しています。壊れているものや、汚れ・落丁等が目立つ場合はご遠慮ください。

バザー品募集

活動報告

七月七日に行われる歌と踊りの練習を、粗毎週水曜日と土曜日に行っています。今回はサザエさんをベースのストーリーです。今回も去年と同様に演者と声優に分かれて行うので、演者・声優の班に分かれて練習したりもしています。



今度新しいキャブを買うので、キャブの試乗をしました。今までののに比べとても大きかったです。

田村 亮彦

5月12日

港区役所で外に出ようの全体集会がありました。
風の子のみんなは元気にやりました。

5月19日

風の子のみんなですていと踊りの集いについて話し合いをしました。
劇の配役が決まりました。今年はサザエさんをやります。
僕はマスオさんの声をします。演技のほうは飯尾さんが担当
です。楽しみにしててください。一所懸命勤めます。

5月26日

その日は夕会はありませんでした。普通に仕事をしてました。
これからも頑張ります。

柳川敬事

夕
会
便
り

賛助会にご賛同下さった方

株式会社 iSERVE様 神谷之和様

伊野秀信様 中嶋仁様

佐々木厚子様 小田正人様 瑞穂様

塩崎昇様 柏輝男様 長野松男様

末吉ミヨ子様

ご協力ありがとうございました

寄
付
の
お
礼

～☆クイズの解答☆～

A1, 95ドル

A2, 59分(1個の細菌から始めると、2個になるのに1分かかる。2個から始めるということは、要するに、この最初の1分間が節約できるだけ)

A3, 1分後

編集後記

五日前（五月二十七日）に私はとうとう七十歳になってしまいました。考えてみるとこの十年は私にとって、ここまでの六十年の中で子供の時を除き、一番早く時がたったような気がしますが、それだけ毎日充実した日々を過ごしていたからかもしれませんね。

これからの七十代の十年間は、どんな運命が待っているのか解りませんが、遣るべきことは誠心誠意、一生懸命やっていきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

太田圭子

5月20日は外に出ようで鎌倉に行きました。しらす定食がおいしかったです。丸山君もしらすを食べていました。

5月23日に51歳になりました。嬉しいです。

今は歌と踊りの練習をしています。本番が楽しみです。

松本恵司

皆さん！暑い夏が来ました。エアコンや扇風機などの家電を多く利用する季節ですが、東京電力の電気料金値上げについて、僕も怒りがこみ上げて来ます。しかも、普段の夏でも電気料金が高くなる所帯も多いことでしょう。今回の電気料金値上げのメリットは何なのかをハッキリしてほしいし、昨年よくマスコミに出ていた上司の方たちは、今天下りとして悠々自適に暮らしているみたいです。そのような、天下りみたいなことをしているから、国民の怒りが止まらないのではないかと思います。

サトミン

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者
吉柳三田佐太石
田川木村久田神
間
久敬直亮 一
代事人彦庸稔郎

和幸右松田小太
栗 田本中野田
頭 塚
太高磨恵 圭
郎史子司聡航子

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

